

「令和6年度病虫害発生予報第7号」の発表について

○向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、北東北、南関東、北陸、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 豆類では、吸実性カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ オオタバコガ及びハスモンヨトウの発生が、全国的に多くなるまたはやや多くなると予想されています。
- ・ 果樹カメムシ類の発生が、南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稻の紋枯病等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう 1 か月の予報（9月5日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、北日本日本海側及び沖縄・奄美で平年並か多い、北日本太平洋側、東日本及び西日本でほぼ平年並と予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html （外部リンク）

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	いもち病	北海道、北東北	甲信、東海
	コブノメイガ	北陸、東海、四国、九州	近畿、中国
	ごま葉枯病	東海、四国	中国、南九州
	セジロウンカ	北東北、南関東、北陸、東海	北海道、北関東
	ツマグロヨコバイ	北陸、東海、四国	近畿
	トビイロウンカ		近畿、中国、四国、北九州
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	東海	北海道
	斑点米カメムシ類	北東北、南関東、北陸、東海、近畿、中国、四国	北海道、北関東、甲信、九州
	紋枯病	北東北、北関東、四国	甲信、東海、近畿、中国、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、北東北、南関東、北陸、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、香川県及び高知県から注意報が発表されています。本虫は、多くの種が水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。被害の程度は、出穂期、水田への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

・**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく、不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、近年、発生の増加や減収被害が報告されています。本虫は、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、水稻への嗜好性が高く、畦畔や水田周辺のイネ科雑草で確認されることは少ないため、本田での発生状況をよく観察し、防除が必要な場合は適期に実施することが重要となります。特に、不稔被害を防止するためには、穂揃い期以降ではなく、出穂期に実施することが重要です。本虫の発生が増加傾向にある地域では、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、本田での発生状況を注視し、収量の確保に向け、効果の高い薬剤による出穂期の防除を実施してください。

<参考>

令和6年の水稻生産における害虫防除について

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/suitou_bouzyo/attach/pdf/index-6.pdf

豆・いも類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	フタスジヒメハムシ	北関東、北陸	
	吸実性カメムシ類	北関東、北陸、東海、近畿	東北、南関東、甲信、中国、北九州
	紫斑病	北東北	北陸、北九州
かんしょ	ナカジロシタバ	北関東、南九州	

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・吸実性カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、適期に防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	うどんこ病	中国	南東北、北九州
	ハダニ類	南東北、東海	関東、近畿、四国、九州
	炭疽病	北関東、東海、四国	南東北、南関東、九州
キャベツ	黒腐病		甲信、東海、中国
きゅうり	コナジラミ類	南関東、近畿	
	べと病		北東北、甲信、四国
	褐斑病	北東北、四国	近畿、中国
	炭疽病	北東北	南東北、中国、四国
トマト	コナジラミ類	北関東	東北、南関東、甲信、近畿、南九州
	すすかび病	北東北	南東北、中国
	黄化葉巻病	北関東	南東北
	灰色かび病	北東北	甲信
	葉かび病	北東北	中国
なす	アザミウマ類		南東北、関東、近畿
	ハダニ類	南関東、東海	南東北、北関東、近畿、四国
ねぎ	アザミウマ類	東北、南関東、北陸、東海	近畿、四国、北九州
	ネギハモグリバエ	南東北、北関東	北陸
	黒斑病	東北、南関東	北関東、甲信、北陸、中国
アブラナ科共通	コナガ	北東北、北陸、中国	
きく	アザミウマ類	北東北、東海	近畿、四国
	ハダニ類	北関東、東海	中国、四国
作物共通	オオタバコガ	東北、関東、北陸、東海、近畿、南九州	北海道、甲信、四国、北九州
	シロイチモジヨトウ	南東北、関東、東海	近畿、四国、北九州
	ハスモンヨトウ	北東北、南関東、北陸、東海、中国、四国	北関東、甲信、近畿、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・オオタバコガ及びハスモンヨトウの発生が、全国的に多くなるまたはやや多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、適期に防除を実施してください。結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	カイガラムシ類		東海、中国、四国
	炭疽病	近畿	北陸、東海、四国、北九州
かんきつ	かいよう病	東海、北九州	南関東、中国、南九州
	そうか病	沖縄	東海、近畿
	ハダニ類	四国	東海、近畿、九州
	黒点病	東海、四国、北九州	近畿、南九州
なし	シンクイムシ類	南東北、南関東、北陸	甲信、中国、北九州
	ハダニ類	関東、北陸、中国	南東北、甲信、東海、北九州
	ハマキムシ類	北東北、北陸	
	黒星病		北東北、北関東、東海、北九州
ぶどう	アザミウマ類	北東北	近畿
	べと病	北東北、北九州	四国
	晩腐病	北東北	近畿
りんご	シンクイムシ類	南東北	北海道、北東北、甲信
	ハダニ類	北東北	甲信、北陸
	斑点落葉病	北関東	東北
果樹共通	果樹カメムシ類	南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州	
茶	アザミウマ類	東海	南関東、近畿、九州
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	東海、九州	
	ハダニ類	東海、南九州	南関東、近畿、北九州
	炭疽病	九州	南関東、東海、近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

■ 果樹共通

・果樹カメムシ類の発生が、南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、兵庫県及び佐賀県から計8件の注意報が発表されています。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、餌を求めて園地を移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では当年世代の発生量に注意が必要です。

本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。また、果樹カメムシ類は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。

〈参考〉

果樹カメムシ類の防除について

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/attach/pdf/index-33.pdf>

果樹カメムシ類の被害にご注意ください（生産者の皆様へ）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/attach/pdf/index-34.pdf>

■ サツマイモ基腐病の防除対策について

サツマイモ基腐病は感染したいもや苗がほ場内に持ち込まれることにより発生が広がります。本病のまん延防止には、り病株の早期発見が重要であることから、都道府県が発表する発生情報等を参考にしながら、ほ場観察を行ってください。なお、疑わしい症状を見つけた場合には、都道府県病害虫防除所等まで連絡してください。

今後、収穫を行うほ場では、いもに変色や腐敗がないか確認するとともに、別のほ場に移動する際には農機具や長靴等をよく洗浄・消毒してください。発病株は一斉に除去し、ほ場内及びその周辺に残さないよう、植物残さを含めて適切な処分を徹底してください。

■ 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和6年8月7日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

■ 警報

発表はありません

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月7日	香川県	水稻（短期栽培、普通期栽培）	斑点米カメムシ類
8月8日	滋賀県	果樹（カキ、ナシ、ブドウ等）	果樹カメムシ類 （主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
8月8日	埼玉県	ネギ、ブロッコリー、ダイズ	シロイチモジヨトウ
8月9日	和歌山県	ミニトマト、トマト	トマト黄化葉巻病
8月13日	兵庫県	果樹類（ナシ、モモ、カンキツ、ブドウ、カキ等）、果菜類（ピーマン等）	果樹カメムシ類 （チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
8月14日	神奈川県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月20日	滋賀県	アブラナ科野菜（キャベツ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリーなど）、花き類（ストック、葉ボタン）	ハイマダラノメイガ
8月21日	北海道	トマト	トマトキバガ
8月23日	岐阜県	大豆、野菜類、果樹類および花き類	ハスモンヨトウ
8月23日	岐阜県	果樹（カキ、ナシ、リンゴ、ミカン等）	カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
8月27日	佐賀県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月28日	埼玉県	なし	ナシヒメシンクイ
8月29日	高知県	水稻（普通期稲）	斑点米カメムシ類
8月29日	静岡県	かんきつ、落葉果樹（なし、かき、キウイフルーツ等）	果樹カメムシ類 （チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
8月29日	大阪府	うり科果菜類（きゅうり）、なす科果菜類（トマト、なす）など	コナジラミ類
9月2日	愛知県	ナシ、カキ、カンキツ等	果樹カメムシ類
9月2日	愛知県	ダイズ、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月3日	山梨県	果樹	果樹カメムシ類

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月7日	長野県	たまねぎ、ねぎ、にんにく	ネギ類（タマネギ、ネギ、ニンニク）黒腐菌核病
8月8日	福島県	－	ナガエツルノゲイトウ
8月9日	徳島県	温州ミカン（施設栽培）	ワタミヒゲナガゾウムシ
8月14日	神奈川県	ブルーベリー（ツツジ科）、オリーブ（モクセイ科）、イヌツゲ（モチノキ科）、コニファー（ヒノキ科）、ジョウリョクヤマボウシ（ミズキ科）、ソヨゴ（モチノキ科）、フェイジョア（フトモモ科）及びマユミ（ニシキギ科）	チュウゴクアミガサハゴロモ
8月22日	長野県	－	トマトキバガ
8月23日	千葉県	スイカ	スイカ退緑えそ病
8月29日	三重県	ウメ	モモヒメヨコバイ
9月4日	和歌山県	トルコギキョウ（施設栽培）	トルコギキョウ白さび病（仮称）
9月4日	京都府	キュウリ	キュウリ黄化えそ病
9月9日	島根県	キク	クロゲハナアザミウマ
9月9日	愛知県	トマト	トマトキバガ

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法の改正により、新たに重要病害虫発生時の通報に関する規定が追加されました。我が国未発生又は我が国の一部のみに発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

（地域）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

（参考）今後の発表予定日

第8号：令和6年10月9日（水曜日）

第9号：令和6年11月13日（水曜日）

第10号：令和7年3月12日（水曜日）

（参考）これまでの発表

第1号：令和6年4月17日（水曜日）

第2号：令和6年5月15日（水曜日）

第3号：令和6年6月12日（水曜日）

第4号：令和6年7月10日（水曜日）

第5号：令和6年7月24日（水曜日）

第6号：令和6年8月7日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、河合

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382